

財務ハイライト

(各表示年の3月期もしくは3月期末現在)

(百万円)

連結業績の推移	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
経営成績						
売上高	883,086	847,105	848,548	743,851	713,286	764,671
営業利益	61,160	38,379	35,518	35,077	73,445	90,962
営業利益率 (%)	6.9%	4.5%	4.2%	4.7%	10.3%	11.9%
当期純利益 (損失)	52,527	3,866	△48,985	8,020	13,627	△8,737
研究開発費	61,850	67,286	61,356	63,379	66,796	74,101
設備投資額*1	34,323	32,699	37,961	28,109	37,810	47,743
減価償却費	43,099	34,188	33,787	33,899	36,850	41,219
EBITDA*2	116,113	84,186	80,408	78,659	119,752	141,602
財政状態						
総資産*3	1,104,528	1,019,160	966,526	960,239	1,027,475	1,081,551
純資産*3	163,131	115,579	48,028	151,907	331,284	357,254
有利子負債	661,481	648,787	642,426	560,390	415,831	354,421
キャッシュ・フロー						
営業活動によるキャッシュ・フロー	76,245	30,469	30,889	25,233	72,388	66,811
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,967	19,003	△35,735	33,455	△20,273	△39,612
フリー・キャッシュ・フロー*4	55,278	49,472	△4,846	58,688	52,115	27,199
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,355	△37,359	△5,761	△42,436	△39,693	△70,185
1株当たり情報						
当期純利益 (損失) (円)	194.90	14.39	△183.54	28.96	41.05	△25.53
純資産額 (円)	576.63	421.37	167.76	493.30	962.83	1,038.64
年間配当額 (円)	30	30	—	—	—	10
主な財務指標						
EBITDA マージン*2 (%)	13.1%	9.9%	9.5%	10.6%	16.8%	18.5%
ROE (自己資本利益率) (%)	40.6%	2.9%	△62.3%	8.3%	5.7%	△2.6%
ROA (総資産利益率) (%)	4.9%	0.4%	△4.9%	0.8%	1.4%	△0.8%
自己資本比率 (%)	14.1%	11.0%	4.6%	15.5%	32.1%	32.9%
PER*5 (株価収益率) (倍)	15.4	160.8	—	76.4	80.2	—
PBR (株価純資産倍率) (倍)	5.2	5.5	8.1	4.5	3.4	4.3

*1 設備投資額は、ASBJ第17号「セグメント情報等の開示に関する会計基準」に基づいて測定しています。

*2 当社では、以下の前提により算出しています。

EBITDA=営業利益+減価償却費(「売上原価」「販売費及び一般管理費」を含む)+のれん償却費(「販売費及び一般管理費」を含む)

EBITDA マージン=EBITDA÷売上高

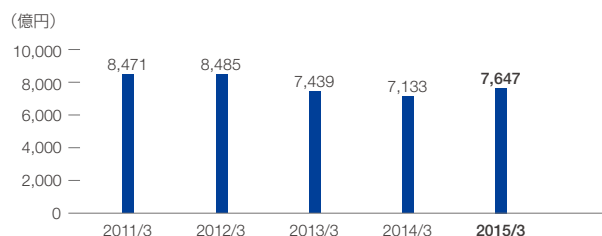
*3 IAS第19号「従業員給付」(2011年6月16日改定)が、2013年1月1日以後開始する連結会計年度から適用されたことに伴い、2014年3月期より、一部の在外子会社において当該会計基準を適用し、数理計算上の差異等の認識方法の変更を行っています。当該会計方針の変更は遡及適用され、2013年3月期については遡及適用後の数値となっています。

*4 フリー・キャッシュ・フロー=営業活動によるキャッシュ・フロー+投資活動によるキャッシュ・フロー

*5 PERについては、2012年3月期および2015年3月期は当期純損失のため、記載していません。

売上高

(前期比) 7% UP



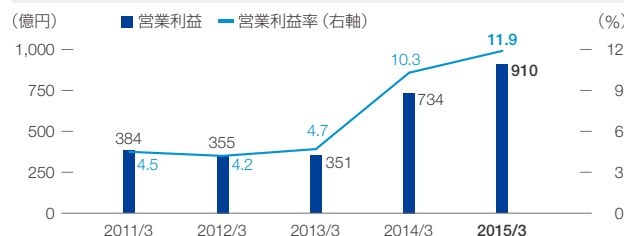
医療事業が2期連続で過去最高の売上高を更新したことに加え、科学事業が海外で好調に販売を伸ばし、前期比7%の増収。

営業利益

(前期比) 24% UP

営業利益率

(前期比) 1.6ポイント UP



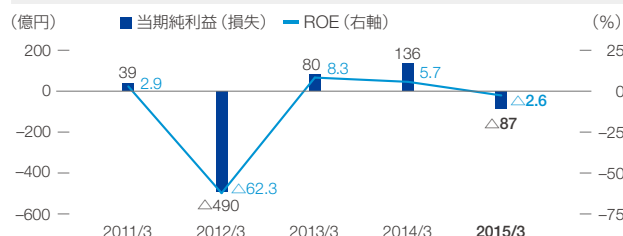
医療事業および科学事業の増益に加え、その他事業が不採算事業の撤退により前期の赤字から黒字に転換したことで、前期比24%の増益。営業利益率は1.6ポイント上昇。

当期純利益 (損失)

(前期比) 164% DOWN

ROE

(前期比) 8.3ポイント DOWN



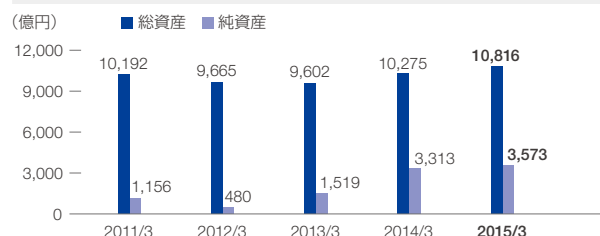
営業利益の増益や有利子負債圧縮に伴う金融費用減少により経常利益は大幅増益した一方で、米国反キックバック法等関連損失を主とした特別損失を計上し、当期純損失。

総資産

(前期末比) 5% UP

純資産

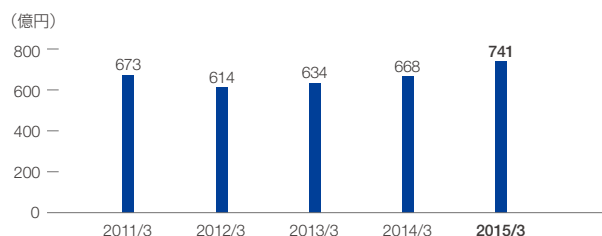
(前期末比) 8% UP



円安により為替換算調整勘定が前期末比で大幅に改善したこと等により、純資産は8%増加。

研究開発費

(前期比) 11% UP



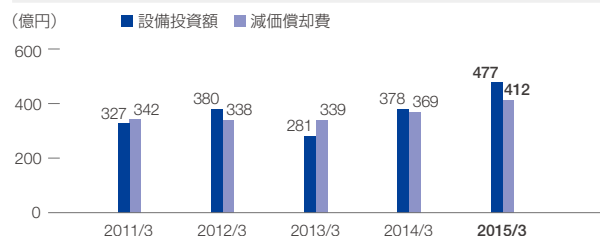
医療事業を中心に将来の成長が期待できる領域に積極的に投資を行い、全体で11%増加。売上高比率は10%。

設備投資額

(前期比) 26% UP

減価償却費

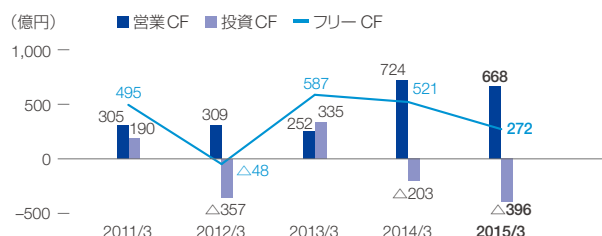
(前期比) 12% UP



設備投資額は医療事業が大幅増となったことにより増加。それに伴い減価償却費も医療事業中心に増加。

フリー・キャッシュ・フロー (フリーCF)

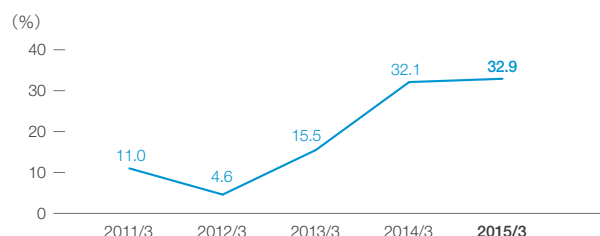
(前期比) 48% DOWN



営業CFは668億円のプラス。投資CFは医療事業で工場再開発等の投資を行ったことにより396億円のマイナス。フリーCFは272億円のプラス。

自己資本比率

(前期末比) 0.8ポイント UP



有利子負債を年間で614億円圧縮したこと等により前期末比0.8ポイント改善。